

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29年 11月 1日

計画の名称	7 高速道路 I. C. 等へのアクセス強化のための市道整備																													
計画の期間	平成26年度 ~ 平成27年度 (2年間)			交付対象	大阪府 枚方市																									
計画の目標	枚方市域においては、平成22年3月に第二京阪道路が全線開通し、さらに、平成24年4月に新名神高速道路が事業着手された。こうした国土軸の形成を本市における産業や地域の活性化に活かして行くために、高速道路のインターチェンジへのアクセスや国道から主要駅へのアクセスの強化を図り、本市域の幹線ネットワークの強化にも繋げていき、交通の移動や安全性に関する市民満足度を高める。																													
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の交通円滑化に関する満足度割合を37% (平成26年) から39% (平成30年) に増加。 安心・安全な交通環境に関する満足度割合を30% (平成26年) から32% (平成30年) に増加。 車両による施設間のアクセス時間を短縮。(枚方市駅から枚方東 I. C.) 																													
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>(H26当初)</td> <td>(H27末)</td> <td rowspan="3">第4次枚方市総合計画 A1~A2</td> </tr> <tr> <td>① 市が実施する市民意識調査の交通の円滑化に関する調査項目により算出。 (交通円滑化に関する満足度割合) = (市民意識調査：高い~やや高い割合の合計)</td> <td>37%</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>② 市が実施する市民意識調査の安心・安全な交通環境に関する調査項目により算出。 (交通環境に関する満足度割合) = (市民意識調査：高い~やや高い割合の合計)</td> <td>30%</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>③ 枚方市駅から枚方東 I. C. の走行時間を道路整備前と完了後に計測し、短縮時間を算出。 (走行時間の短縮による交通円滑化) = (施設間の走行時間：整備前走行時間 - 整備後走行時間)</td> <td>22分</td> <td>20分</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値		備考	当初現況値	最終目標値		(H26当初)	(H27末)	第4次枚方市総合計画 A1~A2	① 市が実施する市民意識調査の交通の円滑化に関する調査項目により算出。 (交通円滑化に関する満足度割合) = (市民意識調査：高い~やや高い割合の合計)	37%	39%	② 市が実施する市民意識調査の安心・安全な交通環境に関する調査項目により算出。 (交通環境に関する満足度割合) = (市民意識調査：高い~やや高い割合の合計)	30%	32%	③ 枚方市駅から枚方東 I. C. の走行時間を道路整備前と完了後に計測し、短縮時間を算出。 (走行時間の短縮による交通円滑化) = (施設間の走行時間：整備前走行時間 - 整備後走行時間)	22分	20分	
	定量的指標の現況値及び目標値		備考																											
	当初現況値	最終目標値																												
	(H26当初)	(H27末)	第4次枚方市総合計画 A1~A2																											
① 市が実施する市民意識調査の交通の円滑化に関する調査項目により算出。 (交通円滑化に関する満足度割合) = (市民意識調査：高い~やや高い割合の合計)	37%	39%																												
② 市が実施する市民意識調査の安心・安全な交通環境に関する調査項目により算出。 (交通環境に関する満足度割合) = (市民意識調査：高い~やや高い割合の合計)	30%	32%																												
③ 枚方市駅から枚方東 I. C. の走行時間を道路整備前と完了後に計測し、短縮時間を算出。 (走行時間の短縮による交通円滑化) = (施設間の走行時間：整備前走行時間 - 整備後走行時間)	22分	20分																												
全体事業費	合計 (A+B+C)	377百万円	A	377百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																				
事後評価 (中間評価)																														
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																														
事後評価 (中間評価) の実施体制					事後評価 (中間評価) の実施時期																									
					公表の方法																									
1. 交付対象事業の進捗状況																														
交付対象事業																														
A1 道路事業																														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
											H26	H27	H28	H29	H30															
7-A1	S街路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	改築	枚方藤阪線	L=398m、W=16~27m	枚方市						3														
7-A2	道路	一般	枚方市	直接	枚方市	市町村道	新設	牧野長尾線	L=1030m、W=16m	枚方市						370														
小計 (道路事業)											377																			
A2 港湾事業																														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
											H26	H27	H28	H29	H30															
小計 (港湾事業)																														
合計											0																			
B 関連社会資本整備事業																														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考													
											H26	H27	H28	H29	H30															
合計											0																			

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		
1-B1-1																
C 効果促進事業														備考		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	
										H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方藤阪線の1車線（一方通行規制）区間を2車線（対面通行）に改良したことにより、枚方市駅（主要駅）から国道1号や第二京阪道路への円滑な道路ネットワークが形成され、アクセス時間が短縮された。 ・牧野長尾線の事業については、平成28年度より社会資本整備総合交付金の別計画へ移行した。引き続き、事業の進捗を図り、早期の効果発現に努める。
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①（交通円滑化に関する満足度割合）	最終目標値	39 %	目標値と実績値に差が出た要因	<p>本指標については、第4次枚方市総合計画（平成21年度～平成27年度）を効率的・効果的に推進し、適切な進行管理を行うために実施していた市民意識調査の平成25年度の結果を現況値として使用していた。しかし、第5次枚方市総合計画の策定に向け、平成27年度に実施した市民意識調査では、調査項目が新たな施策目標に対しての満足度等の調査となり、今後も、新たな施策目標が調査の対象となっているため、本指標の最終実績値を把握することが困難となった。</p> <p>本指標については、第4次枚方市総合計画（平成21年度～平成27年度）を効率的・効果的に推進し、適切な進行管理を行うために実施していた市民意識調査の平成25年度の結果を現況値として使用していた。しかし、第5次枚方市総合計画の策定に向け、平成27年度に実施した市民意識調査では、調査項目が新たな施策目標に対しての満足度等の調査となり、今後も、新たな施策目標が調査の対象となっているため、本指標の最終実績値を把握することが困難となった。</p> <p>目標値達成。</p>
		最終実績値	— %		
	指標②（交通環境に関する満足度割合）	最終目標値	32 %	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	— %		
	指標③（走行時間の短縮による交通円滑化）	最終目標値	22 分	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	20 分		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方藤阪線の整備により、歩道拡幅やバリアフリー化によって、枚方市駅周辺の安全な歩行空間等の確保ができた。
--	---

3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より、要素事業（牧野長尾線）を社会資本整備総合交付金の別計画へ移行。 ・移行先の計画にて、引き続き工事進捗を図り、早期の効果発現に努める。
